

宮崎市胃がんリスク層別化検査（ABC分類）を受診された皆様へ

宮崎市郡医師会では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等の研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。研究該当期間中はいつでも本研究への参加を拒否することが可能です。

研究課題名 (研究番号)	胃がんリスク層別化検査（ABC分類）2巡目は有効か？ (2020-6)
当施設の研究責任者 (所属)	尾上 耕治 宮崎市郡医師会成人病検診センター
他の研究機関	宮崎市郡医師会におけるABC分類を実施している施設 170 医療機関
本研究の目的	宮崎市は胃がんリスク層別化検査（ABC分類）を2013年度より行っています。5年に1回の検査で、2018年度からは2回目（2巡目）となります。しかし、2巡目の受診者においてはピロリ除菌者が増え、胃がんリスクの低い受診者が多くなることが想定されます。その結果として2巡目の胃がん発見率は下がるという報告があり、2巡目を行うことの意義が問われています。我々宮崎市は2巡目に入ったので、2巡目と1巡目の胃がん発見率などのデータを比較し、その有用性を検討することを目的としています。
研究該当期間	倫理委員会承認後より2020年7月31日
研究の対象となる方	2013年6月より2019年3月までに宮崎市胃がんリスク層別化検査（ABC分類）を受診された方
ご協力頂く内容	上記期間に記録されたABC分類に関する診療情報（受診者数、精密検査が必要とされた人数、精密検査を受けた人数、発見された胃がんの人数、早期胃がんであった人数など）を、研究に使用させていただきます。使用に際しては、文部科学省・厚生労働省が定めた倫理指針に測って個人情報厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定できない形で行います。
外部への試料・情報の提供	研究データの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。匿名化対応表は、該当する患者さんが診療を受けた当施設の責任者（所長 尾上耕治）が保管・管理します。
研究参加について	研究への参加を希望されない場合、その方の情報を研究における解析に利用することはありません。研究に参加される場合でもされない場合でも、患者さん個人を特定できるような情報が外部に漏れることはありません。
本研究の資金源（利益相反について）	本研究に要する経費はありません。また、本研究参加の皆様は、新たな費用の負担を求めません。なお、利益相反の状況は、日本消化器がん検診学会に報告しその指示を受けて適切に管理されています。また、宮崎市郡医師会病院倫理委員会にても審査を受け適切に管理されています。本研究に関する研究全体及び研究者個人として、利益相反の状態はありません。
お問い合わせ先	宮崎市郡医師会成人病検診センター 所長 尾上耕治（電話 0985-52-5111） (月～金 15:00～16:30)
備考	特になし